

添付資料3-3

仕様書
北生発 20205029746号

試験名：次亜塩素酸水の気化による付着ウイルスの抑制性能評価試験（25 m³空間）

目的：次亜塩素酸水を気化させることによって付着ウイルスがどの程度抑制されるかを評価する。

試験方法：JEM1467「家庭用空気清浄機」の附属書E「付着ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考

試験品：次亜塩素酸水（名称：xx、品番：xx、製造者：xx、濃度：xx、pH：xx）
噴霧器（名称：xx、品番：xx、製造者：xx、加湿方式：xx、加湿量：xx）

試験ウイルス：*Escherichia coli* phage MS2 NBRC 102619

試験空間：25 m³試験チャンバー（幅2.7×奥行3.8×高さ2.4 m）

試験概略：

試験ウイルスを1/50濃度のNB培地に懸濁し、約 5×10^7 PFU/mLに調整する。試験片（＝シャーレ）に10 μ L（＝2 μ L×5箇所）の試験ウイルス液を滴下し、室温で約30～60分乾燥させる。試験チャンバー内の側面中央に試験品を設置し、この試験品から約1.5 m離れた高さ1.2 mの位置に試験片を配置する。試験品を運転し、所定時間ごとに試験片を回収する。試験片に1 mLの0.03%チオ硫酸ナトリウム添加SCDLP培地を滴下して試験ウイルスを洗い出し、ウイルス数を測定する。コントロールとして、試験品を運転しない条件（＝自然減衰）で同様に試験する。

表 測定件数

条件	時間（分、仮）				
	0	15	30	45	60
①自然減衰 （コントロール）	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
②次亜塩素酸水		●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

●付着ウイルス数測定： 27 件

試験日：未定

納期：試験日から約1週間後に速報、試験日から約1箇月後に報告書を発送

試験の条件変更につきまして：

準備の都合上、試験日の1週間前を過ぎると、試験条件を変更することはできません。